

第41回日韓河川及び水資源開発技術協力会議（2025年2月17日～21日）【概要報告】

- 2025年2月17日～21日に「第41回日韓河川及び水資源開発技術協力会議」が、コロナウィルス感染拡大などもあり、8年ぶりに開催。韓国環境部のキム資源政策官、イ水災害対策課長等、16名が訪日。
- 本会合には、国交省からは、齋藤水資源部長、田中水資源計画課長ほかが出席。①気候変動を踏まえた洪水対策、②水資源の確保、③都市部における洪水対策、④DXの活用、⑤水文学的リスクに関する国際標準化をテーマに、両国より発表を行い、日本側からは小澤河川計画調整室長、中邨水資源計画課企画専門官、石田流域減災推進室長、久保河川情報企画室長、小浪国際室長が発表。
- 次回は2026年中に韓国で開催することを合意。
- 本会合の他、荒川第2・第3調節池（2/17(月)）、荒川下流河川事務所及び京成本線架替事業（2/18(火)）、南摩ダム（2/19(水)）、天ヶ瀬ダム（2/20(木)）、淀川河川事務所毛馬出張所、阪神なんば橋梁架替事業、高規格堤防（西島地区）（2/21(金)）などの視察を行った。

日韓会議(2/18)



開会挨拶

現地視察



荒川第2・第3調節池



京成本線橋梁架け替え



天ヶ瀬ダム



集合写真



荒川下流河川事務所



南摩ダム



淀川(阪神なんば橋梁架替事業)